

NO 9017		レジメン名		MPD(裏面指示あり)					
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名		
		年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)			
		歳	cm	kg	m <sup>2</sup>	ml/min (mg/dl)			
【適応がん種】扁平上皮K				PEP/MTX/CDDP		CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	<b>【病状】</b> 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である <b>【治療】</b> 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に関しては説明していない 平成20年7月16日 改訂
1・ペブレオ	10 mg/BODY	DAY1. 8. 15		60~禁30	-	-			
2・メソトレキセート	40 mg/m <sup>2</sup>	DAY1. 15		60~禁30	180~	3.1~禁5.1			
3・シスプラチン	50 mg/m <sup>2</sup>	DAY4		60~禁30	180~	3.1~禁5.1			
28日(4週)1クール				WBC基準	HGB基準	PLT基準			
1 ペブレオ	10 mg/BODY						mg/BODY		
2 メソトレキセート	40 mg/m <sup>2</sup> ×	m <sup>2</sup> =		mg			mg/BODY		
3 シスプラチン	50 mg/m <sup>2</sup> ×	m <sup>2</sup> =		mg			mg/BODY		
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法				
①	ペブレオ( )mg	10mg	本	生食20mL 1. 2本 【生食24mL】	10:00~翌10:00 シリンジポンプで24時間 持続皮下注				
②	デキサメタゾン 6.6mg		1 本	生食50mL	ペブレオ投与後 15分で点滴				
③	メソトレキセート( )mg	50mg 5mg	本 本	▲ソルデム1 200mL	デキサメタゾン終了後~ 30分で点滴				
④	ハルトマンPH8 500mL		1 本		メソトレキセート終了後~ 2時間30分で点滴				
⑤	ロイコポリン3mg		5 本	5%ブドウ糖50mL	ハルトマン終了後~ 全開で点滴				
⑥	イメンド125mg	内服			イメンド内服後~全開				
⑦	アロキシバグ		1 本		アロキシ終了後~1時間				
⑧	デキサメタゾン6.6mg		1.5本	デノサリン500mL	デキサート終了後~ 30分で点滴				
⑨	マンニトール 300mL		1 本		マンニトール終了後~ 1時間で点滴				
⑩	シスプラチン( )mg	50mg 25mg 10mg	本 本 本	【生食250mL】	シスプラチン終了後~ 1時間で点滴				
⑪	ヴィーンF500mL		1 本		ヴィーンF終了後~ 1時間で点滴				
⑫	ヴィーンF500mL		1 本		ヴィーンF終了後~ 1時間で点滴				
⑬	デノサリン500mL		1 本		デノサリン終了後~ 1時間で点滴				
★10万円/28日1クール				★24時間/5時間30分/24時間/24時間				201512更新	
月日	うら面オーダー必要		指示医	受け	うら面確認必要		調監 前確 実施		
		①②③④⑤	DAY1						
		⑥~⑬	DAY4						
		①	DAY8						
		①②③④⑤	DAY15						

医師指示表					
月日	指示事項			指示者名	受領者名
	シスプラチン投与日 1日2回 尿量測定				
	①レジメンの点滴開始からの5時間 ②その後の5時間				
	↓				
	CDDP当日.....上記5時間の尿量が500mL以下の場合ラシックス40mg1錠内服				
★科内パスライクセット 【Chemo917】 (パス適応開始日は治療初日DAY1)					
	DAY1~2 および DAY15~16				
	当日朝からアロプリノール含嗽水 1日5回 1回10mL含嗽 2日分 ×2回				
	DAY 4				
	ラシックス(40mg)	1 錠	尿量不足時		
	CDDP翌日から内服				
	デカドロン(0.5mg)	16錠	毎食後(朝6-昼6-夕4)	3日分	
	イメンド(80mg)	1Cap	朝食後	2日分	
	吐気時(必要に応じて処方)				
	プリンペラン錠	1回2錠	10回分(1日3回まで)		
	DAY4 ・ DAY11 ・ DAY15				
	化学療法前検血 (至急).....主治医へ報告				
備考					
【医師注意事項】					
□24時間Ccrが40-60mL/minの場合は全ての薬剤を75%量に減量					
□24時間Ccrが40mL/min未満の場合はCDDP中止					
□白血球数2500以下または血小板1万以下の場合は薬剤投与中止					
□投与前に胸部X-P、ガス分析、スパイロ実施(PEPのIPの確認、発症頻度約7%とされている)					
A-aDo2(正常値8~20torr)=PAo2(=149-1.2PaCo2)-Pao2					
【看護師注意事項】					
○ペブレオの投与はシリンジポンプで、翼状針を用い24時間皮下注(1mL/時間設定)で行う					
○咳、労作時の息切れなどの症状が認められる場合はその旨主治医へ報告する					